

序 説

IVRの道を志し放射線科の門を叩いてから10余年が経過しました。その間もIVRの世界では新たな技術やデバイスが生み出され進化を続けています。

このたび『基本的なIVRの手技のおさらい』をテーマに特集を企画・編集する機会をいただき、筆者自身大変光栄に存じます。副題を『故きを温ね新しきを知る』としたのは、IVRの礎となる基本的技術や手技のポイントを改めて見直すとともに、進化を続けるIVR手技の最先端にも触れていただきたいという思いからです。

かつて筆者がIVRの世界に飛び込んだとき、「こんな特集があれば」と願った内容を体現すべく、新進気鋭の若手IVR医の先生方を多く執筆陣に迎え、それぞれのテーマに対して基礎から応用まで幅広く取り上げていただきました。各先生方の原稿を拝読するたびに、その卓越した見識と情熱に触れ、改めてIVRの魅力を痛感するとともに、筆者自身の“学び”も深まりました。本「序説」は軽く目をとおしていただき、ぜひ速やかに「本論」へとお進みのうえ、IVRの奥深い世界を存分にご堪能ください。

最後に、ご多忙にもかかわらず素晴らしい内容をご執筆くださった先生方には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。本特集が、豊富な経験をおもちの先生方には知識の再整理の場として、また若手医師の皆さまにはIVRの世界への入り口としてお役に立ていただければ幸いです。どうぞご一読ください。

馬越紀行